# 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和　4年　3月　31日　　事業所名　魚津市身体障害者デイサービスセンター

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である | | ○ | 共生型サービスのため、放デイだけの空間の確保は難しい。同法人が運営している児童センターや交流センターの利用などで空間の確保に努めている。 | 今後もより良い空間確保や活動内容を検討します。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切である | ○ | | 放デイの担当は2名の職員が交代で行っている。それを含めた職員が5～6名で活動の見守りと支援を行っている。 | 長期休業中は一日利用となるため、通常のデイサービス業務を行いながら体制に苦慮することがあります。勤務体制の見直しをし、安全な運営を行います。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている | ○ | | | 車いす利用者も多いため、施設内はバリアフリー化されています。 |
| 業務改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している | ○ | | 日々のミーティングや定期的に職員会を行うことで職員間の共通理解に努めている。 | 今後も継続し情報の共通理解に努め、疑問点など発言しやすい環境づくりに努めます。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている | ○ | | | 今回のアンケート結果を次年度につなげます。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している | ○ | | | |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている | | ○ | | |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している | ○ | | コロナ禍で回数は少なかったが、他の放課後デイ事業所との意見交換会や研修に参加している。 | 今後も積極的に参加します。 |
| 適切な支援の提供 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | 今後も本人のニーズや課題をアセスメントし、よりよい計画作成に努めます。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している | ○ | | 物の置き場所を視覚でわかるようにしたりスケジュールボードを活用し日々の予定をわかりやすくしている。 | |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っている | ○ | | | |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫している | ○ | | | |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している | ○ | | 長期休暇中は、放課後では取り組めない活動に取り組んでいる。 | 子どもの必要な支援の把握に努め、メリハリのある活動の設定に努めます。 |
| | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している | ○ | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している | ○ | | 午前・午後のミーティングにて職員の動きを確認している。 | 今後も職員間の連携をはかりより良い支援を行います。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している | ○ | | 個人記録を作成し、気づいた事を記入している。 | 今後も記録や話し合いを繰り返し、子どもの理解を共有することに努めます。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている | ○ | | 個人記録を作成し、気づいた事を記入している。 | 日々の記録を共通の支援の在り方や次回の活動支援につなげます。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | ○ | | | |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている | ○ | | | 今後も真摯に努めます。 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している | | ○ | | 今後担当者会議が行われる際は積極的に参画します。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている | ○ | | | 今後も学校との連携に努め良い関係性を築けるように努めます。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている | | ○ | | 受け入れの際は主治医等との連絡体制を整えます。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている | ○ | | | 今後も連携をとり、情報共有と相互理解に努めていきます。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している | | ○ | | そのような場合は情報の提供をしていきます。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている | ○ | | 同一法人で児童発達支援センターを運営している。 | 児童発達支援センターと連携を強化します。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある | | ○ | 児童センターを利用している。 | コロナ禍ではあるが、積極的な交流活動に努めます。 |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している | | ○ | 自立支援協議会の開催が少ない。 | 開催されれば積極的に参加します。 |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている | ○ | | 連絡帳への記入と送迎時の会話で情報の共有を行っている。 | |
| | 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント･トレーニング等の支援を行っている | | ○ | | 保護者支援は課題として認識しており、今後検討していきます。 |
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている | ○ | | | 今後も重要事項説明書、パンフレットを使用し丁寧な対応を心がけます。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている | ○ | | | 送迎時など、保護者から相談を受けた際は適切に応じ必要な助言と支援を行います。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している | | ○ | | 保護者支援は課題として認識しており、今後検討していきます。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している | ○ | | | 苦情等が発生した際は記録し、職員間で話し合い改善に努めます。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している | | ○ | 長期休業後は利用者向け通信を発行した。 | 今後は定期的な通信の発行を検討します。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意している | ○ | | | 今後も個人情報の取り扱いには十分注意します。 |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている | ○ | | 個々の理解しやすい方法を職員間で話し合い、意思の疎通に努めている。 | 今後も継続します。 |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている | | ○ | | 実施できていない。感染症の状況をみて今後検討していきます。 |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している | | ○ | | 職員間での周知はされているが、保護者への周知が今後の課題として検討します。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている | ○ | | 年に2回程度避難訓練を実施している。 | 今後も避難訓練を実施し、その都度改善点を職員、利用者と話し合い検討します。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている | | ○ | | 虐待防止対応規程に基づき対応します。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | ○ | | | |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている | ○ | | 契約時に確認している。 | 今後も継続します。成長の過程で、アレルギーや医師の指示が変わった際はその都度確認し変更に対応します。 |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している | ○ | | 事例を記録し共有している。 | 今後も継続課題とし、よりよい支援に努めます。 |